

令和5年度 杉並区立小中一貫教育校 高円寺学園 学園経営方針・計画

I 令和5年度学園経営の最上位目標…「杉並区教育ビジョン 2022」を踏まえ、熱気あふれる教職員集団により、保護者・地域と協働しつつ、全児童・生徒に教育目標を実現する。

II 令和5年度の重点とする目標…

- 1 「One and Only」の学園を実現するため、高円寺・学園の特質を生かした熱気あふれる教育活動を展開する。
- 2 児童・生徒の「学びに向かう力」を高める学園を実現するため、「深く学ぶ(主体的・対話的で深い学び)」授業を充実する。
- 3 児童・生徒の「人権」といのが守られる学園を実現するため、心の教育等を徹底する。
- 4 学園の様々な課題を克服し、質の高い教育を実現するため、教員の専門性と学校組織のレジリエンスを高める学園づくりを進めます。



「杉並区教育ビジョン 2022」に基づき、以下を本学園として実現する。

目指す学園の姿「学び舎 高円寺」

- 主体的・対話的な学びを大切にする学園
- まちのコミュニティの核になる学園
- 地域の就学前施設と連携し幼児期の学びを生かす学園
- 互いの人格を尊重し、共生社会の基礎作りを目指す学園
- すべての教職員が「チーム高円寺」の意識で学園づくりに取り組む学園

高円寺学園の教育目標

- ◎深く学ぶ
- 互いを助け高め合う
- たくましく生きる

教職員のあるべき姿勢「高円寺シップ」+

- かかわりとつながりを大切にしよう
- まちに支えられている学校という意識でこれからのまちをつくる人を育てよう
- 学校運営協議会、学校支援本部とともに教育活動を展開していく。また、地域人材を積極的に活用し、指導に活かすとともに、われわれも積極的にまちに出ていこう
- 高円寺北子保育園や保育園との連携教育を継続していく
- 高円寺の伝統と文化を継承し、まちに貢献していこう
- 地域の防災拠点としての取り組みを継続していく

方針1 「One and Only」の学園を目指します。

【経営方針・計画事業等】

- (1) 小・中学部の児童・生徒・教員間の交流・協働(小中一貫教育)をより進めます。
- (2) 高円寺のまちの文化を担おうとする心を育てます。(阿波おどりを学ぶ、踊る行事・地域貢献活動・日本の伝統文化教育等)
- (3) 関係諸機関、近隣施設等と連携し「高円寺流 STEAM 教育」の研究・実践を行います。
- (4) 特別支援学級と通常学級との交流を充実させます。
- (5) アフターコロナの時を迎え、熱気あふれる学校行事を実施します。
- (6) エリア内就学前教育施設等との連携(幼保小中連携)を深めます。
- (7) 多様な専門性を有し、熱気あふれる教職員集団をつくりまします。
- (8) 教職員の「インクルーシブ教育」についての専門性を高めます。

方針2 学びに向かう力を高める学園を実現します。

【経営方針・計画事業等】

- (1) 低学年からタブレットPCを活用した協働的な学習を進めます。
- (2) 思考力・判断力・表現力を高めるための「深く学ぶ」学習活動の日常化を図ります。(学びの構造転換、個別最適な学び)
- (3) 確かな学力の確実な定着と向上に向けて、学習評価を充実します。
- (4) 学習ツールとしてのAIドリルを有効に活用します。
- (5) 住環境学習、キャリア教育に重点を置く、系統性のある総合的な学習の時間を推進します。
- (6) 済美教育センター、近隣科学館と連携した科学教育を推進します。
- (7) 地域の人的・環境資源等を活用した高円寺流 STEAM 教育を推進します。
- (8) 運動部活動の活性化など、体力向上に資する取組を開始します。
- (9) 小学部高学年での一部教科担任制開始の準備を進めます。

方針3 人権といのが守られる学園を実現します。

【経営方針・計画事業等】

- (1) 「人権意識＝やさしい心・思いやりの心・多様性を尊重できる心」を育むために、人と人の関わりを大切に教育を推進する。
- (2) 「高円寺学園 いじめ防止基本方針」に基づき、いじめや暴力のない学園・学部・学年・学級経営を進めます。
- (3) 児童・生徒の情報リテラシー(情報モラル含む)を高め、インターネット等にかかわる人権侵害行為の当事者となる事案発生を防ぎます。
- (4) 不登校など多様な問題を抱えた児童・生徒の態様に応じたきめ細かな支援を行います。
- (5) 感染症防止に対する対策を教職員が一丸となって進めます。
- (6) 児童・生徒の安全指導・安全管理を徹底します。
- (7) 教職員全員が児童虐待防止・DVについての理解を深め、法に基づく対応を履行します。
- (8) 街の実態に基づく、安全・防災教育や犯罪被害防止教育を進めます。

方針4 教職員の専門性と組織のレジリエンスを高めます。

【組織経営・教職員の育成等】※レジリエンス＝様々な困難から立ち直る力

- 地域運営型学校として、学校運営協議会、学校支援本部、地域教育推進協議会等、地域と協働した経営及び教育活動等を進めます。
- 教師同士が学び合う風土を醸成し、子供の可能性を最大限に引き出す「深く学ぶ」教員が育つ学園を目指します。
- 教職員集団の「心理的安全性」を確保します。
- 教育目標の改定を機会として教育目標の実現を目指したカリキュラム・マネジメントを充実します。
- 統括主幹教諭を中心とした小中学部の協働を進めます。
- 校内の専門職、外部人材、大学生ボランティア等を積極的に活用するなど、組織の多様性を高めます。
- 済美教育センターの協力を得て、教員のOJTを進めます。
- PC活用能力を教師の学習指導力として能力開発を行います。

【働き方改革】

- 校務のデジタル化を進めます。(校務改善ソフト等の導入)
- 校務PCを活用したタイムマネジメントを全教員が進めます。
- 土曜日授業や会議、保護者参観を精選します。